

人工膝関節置換術における神経ブロックに関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年7月15日～2028年3月31日

〔研究課題〕

全人工膝関節置換術（Total Knee Arthroplasty：TKA）における術後坐骨神経ブロック大殿筋膜面アプローチの有用性

〔研究目的〕

当院麻酔科では、術後の疼痛緩和のため手術時に神経ブロックによる鎮痛を行っています。今回我々が考案した神経ブロックの有用性を評価するため本研究を行います。

〔研究意義〕

神経ブロックによる疼痛緩和は早期離床、リハビリ促進や合併症の減少などに繋がります。今回我々が考案した神経ブロックが従来の方法と比較して、疼痛緩和の質を落とすことなく、より安全で簡便に行うことができれば、より多くの患者様の疼痛緩和に貢献することができると考えられます。

〔対象・研究方法〕

2018年4月～（倫理委員会審査承認日）の間にTKAおよび神経ブロックを施行された方を後方視的に調査します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に則り、個人情報を匿名化して使用します。研究終了後、データは倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管後、破棄されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：帝京大学医学部麻酔科学講座 助手 奥富 由貴

研究分担者：帝京大学医学部麻醉科学講座 主任教授 澤村 成史

帝京大学医学部麻醉科学講座 准教授 柿沼 玲史

帝京大学医学部麻醉科学講座 助教 小西 康貴

所属：帝京大学医学部附属病院 麻醉科

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [責任者内線 7908]